

運営推進会議開催報告書

下記事業所について、次のとおり運営推進会議を開催したことを報告します。

1. 基本情報

事業所名	都筑区医師会ナーシングホーム		
サービス種別	看護小規模多機能型居宅介護		
所在地	横浜市都筑区牛久保西1-20-21		
担当者	吉井 涼子	連絡先	045-913-6321
運営法人	一般社団法人 横浜市都筑区医師会		

2. 開催日時・場所

日時	平成29年1月13日13時30分～14時00分	場所	医師会館理事長室
----	-------------------------	----	----------

3. 出席者

氏名	分野	備考(所属・従事経験など)
木下 均	地域住民の代表者	牛久保西町内会 会長
松本 裕	地域住民の代表者	中川地区民生委員児童委員協議会 会長
成田 真一	当該サービスに知見を有する者	中川地域ケアプラザ 所長
堀元 隆司(欠)	当該サービスに知見を有する者	堀元歯科医院 院長
斉木 和夫(欠)	当該サービスに知見を有する者	斉木クリニック 院長
小林 雅子	当該サービスに知見を有する者	小林クリニック 副院長
小川 憲章	当該サービスに知見を有する者	小川メディカルクリニック 院長
谷合 清佳	市の職員又は地域包括支援センターの職員	都筑区役所 高齢者支援課係長
水野 恭一	法人代表	
吉井 涼子	管理者	
宮島 佳代	看護主任	
羽後 みゆき	介護リーダー	
青柳 かおる		
後藤 瑞佳	事務	
上條 由佳	事務	

4. 活動状況報告

別紙のとおり

(裏面あり)

5. 活動状況に関する評価・意見・要望

1. インシデント・アクシデント報告について

【意見1】十分気をつけていても施設では転倒は起こりえると思う。その場合は、予め転倒のリスクなどの説明をしておいたほうがいい。ご家族とのコミュニケーションが大切だと思われる。

2. 事例報告について

【意見2】便汚染が頻回だったケースでは、業者に洗濯依頼をしたようだが、衣類の貸し出しはないのか？

【意見3】施設で亡くなった事例は、亡くなられた後の妻は大丈夫なのか？

【意見4】事例を聞くと医療依存度の高い利用者の受け皿になっていることが分かった。

【意見5】重症の利用者が多く、頼みたいケースが多いが、ケアマネを変更することで看多機の利用のハードルを高くしている。制度的にケアマネを変更せずに利用ができるようにしてもらいたい。行政の方には是非、声を伝えてほしい。

3. これまで亡くなられた事例は何件？

6. 評価・意見・要望に対する考え・取組

【意見1】契約時に、転倒のリスクを伝えている。今回の場合は、帰宅時にも同じようなことがありご家族は理解されている。

【意見2】業者による衣類の貸し出しは、個人契約ではなく事業所契約となりコスト面で現在は難しい。希望される利用者が多くなれば検討したい。

【意見3】本人が厳しい方だったようで、長年、そのことで妻が精神的に追い詰められていた経緯がある。

【意見4】今後も重度の利用者の受け入れを積極的に行なっていく。

7. 地域からの情報提供

特に無し

8. その他特記事項

・特になし

活動状況報告書(小規模多機能型居宅介護・看護小規模多機能型居宅介護)

1. 基本情報

事業所名	都筑区医師会ナーシングホーム		
所在地	横浜市都筑区牛久保西1-20-21		
担当者	吉井 涼子	連絡先	045-913-6321
運営法人	一般社団法人 横浜市都筑区医師会		

2. 登録者の状況

登録者数(5月1日現在)	女性 10 名		男性 5 名		計 15 名	
要介護度	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	申請・区変中
	2 名	2 名	3 名	4 名	4 名	0名

3. サービス提供回数(会議開催の前月分)

登録者	年齢	通い	泊まり	訪問看護	訪問介護	備考(入所日、退所日など)
ア	80	6	3	1	0	4/20登録4/30終了
イ	81	18	0	0	0	
ウ	92	12	7	1	0	
エ	92	20	16	32	4	
オ	73	26	0	1	0	
カ	58	28	2	1	0	
キ	84	7	0	3	14	4/18登録
ク	97	3	3	0	1	4/28登録
ケ	97	28	26	3	4	
コ	61	30	30	1	1	
サ	87	8	0	1	0	
シ	72	8	0	2	22	
ス	70	1	0	0	0	
セ	79	24	23	47	1	
ソ	54	8	0	0	19	
タ						
チ						
ツ						
テ						
ト						
ナ						
ニ						
ヌ						
ネ						
ノ						
ハ						
ヒ						
フ						
ヘ						
合計		227	110	93	66	
平均	78.5	15.1	7.3	6.2	4.4	

(裏面あり)

4. 運営方針

事業所の目標	【利用者の獲得】 1. 適切な職員の確保と黒字転換 2. 「ケアの理念」の実現 「ケアの理念」: その人の「生きる」を支える。寄り添い、理解し、尊重する
目標に向けた具体的取組	1. 求人活動と既存の職員が充実した仕事ができ辞めないようにする 2. カンファレンス記録による情報の共有をしている 3. 利用者や家族の意向を反映した多職種でのケアプランの作成と共有を目指している 4. 研修計画の実施

5. 活動報告

4月5日(水) : 看多機施設の1年点検 4月14日(金) : 食材の業者「ケイーズフーズ」の検討 4月25日(火) : 介護福祉士3名、喀痰吸引等研修受講(半固形経管栄養注入)

6. 事故・ヒヤリハット報告

内容	【内容】 転倒2回 【経緯】 97歳、男性、認知症、膀胱カテーテル留置し泊りサービスの利用中。深夜、音がしたので訪室するとベッドの下に横たわり、手足を動かしていた。「靴が履けない。情けないことになってしまった。おこして欲しい。」と意識鮮明、打撲痕、痛みなし、二人介助でベッドに戻し、看護師に連絡して、医師・家族に連絡した。後日、往診をしてもらい病院受診はせずに様子みた。 個室を事務所脇に移していたが、10日後、声が聞こえて、カーテンを開けると、ベッド下に座り込んで妻の名前を呼んでいた。痛みの訴えなく、看護師、医師に連絡して様子みた。
改善策	【再発防止策】 ・ベッドの高さを一番低床にし、L字バーは閉じる。 ・音の響く鈴をシーツ、掛け布団につけ、部屋は全開した。 ・他の利用者のケアに入る前には、必ず確認する。 ・部屋をデイルーム横にして人の目があるようにする。 ・ベッド再度に「環境整備の注意事項」を張り出した。

7. 地域への情報提供

特に無し

--